

佐渡市長賞

佐渡のためになる税金の使い道

佐渡市立南佐渡中学校 3年 高野 碧

佐渡で税金が最も多く使われているのは民生費です。佐渡は高齢化が進んでいるため、税金の使われる金額の割合が高いのは必然だと思います。ですが、私は子どもたちがもっと佐渡に住みやすくするためにも税金を使ってほしい。特に、外で体を動かせる場所が増えるといいなと思います。

私の住む小木には遊具のある公園がありません。なので、公園で遊びたい時に友達と気軽に行けないことが多いです。佐渡全体でも遊具のある公園は少ない。公園がない地区はなかなか外で体を動かして遊ぶことができないのです。そこで、屋内で運動したり小さい子どもでも遊べる施設を作ってほしいと思います。現代、ゲームやスマホなど、家で楽しめるものが多いですが、外で体を動かす機会が増えれば子どもたちの健康にもつながり、友達との仲を深めることもできるのではないのでしょうか。

また、障害をもつ人たちのための施設も増えたらいいなとも思います。福祉施設が多く必要な状況ですが、一度ピークが過ぎた時必要になるのは障害者を助けることだと思います。私の弟も障害をもっていますが、預かってくれる場所があるのがとても助けになっています。少しでもつらい思いをもつ障害者とその家族が減らせるような場所があると佐渡はもっといろいろな人が住みやすくなるのではと感じます。

税金は、その地域の人たちが一生懸命に働いて払う大切なお金です。そんな税金は未来の日本で活やくする小さな子どもたちや今まさに地域のためにがんばる大人のために使ってほしい。誰もが住みやすい佐渡を作ることは佐渡が良い場所なんだというアピールにもなるし、移住してくれる人が増えることにもつながると思います。佐渡のより良い発展のためには、税金の使い道が重要になってくるのではないのでしょうか。佐渡がもっと素敵な場所になるために自分でもなにができるかを考えていきたいです。